

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

国土交通省におかれましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道立体化への取組につきまして、格別のご配意を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、平成19年度当初、足立区が事業主体となる東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を、新規着工準備箇所として採択いただき感謝申し上げます。

現在、足立区では、鉄道の比較設計や関連事業計画の検討等を実施し、平成23年度の事業着手を目標に、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

また、鉄道立体化に合わせたまちづくりにつきましても、区北部の地域拠点として、鉄道立体化に合わせた都市機能の更新、地域商業の活性化等を図ってまいりたいと考えております。平成18年度には、地元代表者によるまちづくり連絡会を立ち上げました。今年度中には、地域住民との協働により、まちづくり構想を策定するとともに、今後、都市計画手続きを精力的に進めてまいります。

こうした取組に加え、足立区は、連続立体交差事業の確実な実施を担保するため、平成17年度に竹ノ塚鉄道立体化資金積立基金を設置し、将来の財政負担に備えております。

足立区にとりまして、竹ノ塚駅付近の鉄道高架化と周辺まちづくりは、まさに悲願であり、一日も早い事業完了を何としても成し遂げなければなりません。

つきましては、次の事項について特段の配慮を強く要望します。

- 一 道路特定財源の一般財源化に際しましては、連続立体交差事業をはじめとする地方の道路整備の推進に必要な財源を確実に確保していただきたい。
- 一 区施行による東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の早期実現に向け、今後とも財政面及び技術面における格段のご支援をいただきたい。

平成20年11月20日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長

足立区長 近藤 や よ い

国土交通大臣 金子 一 義 様